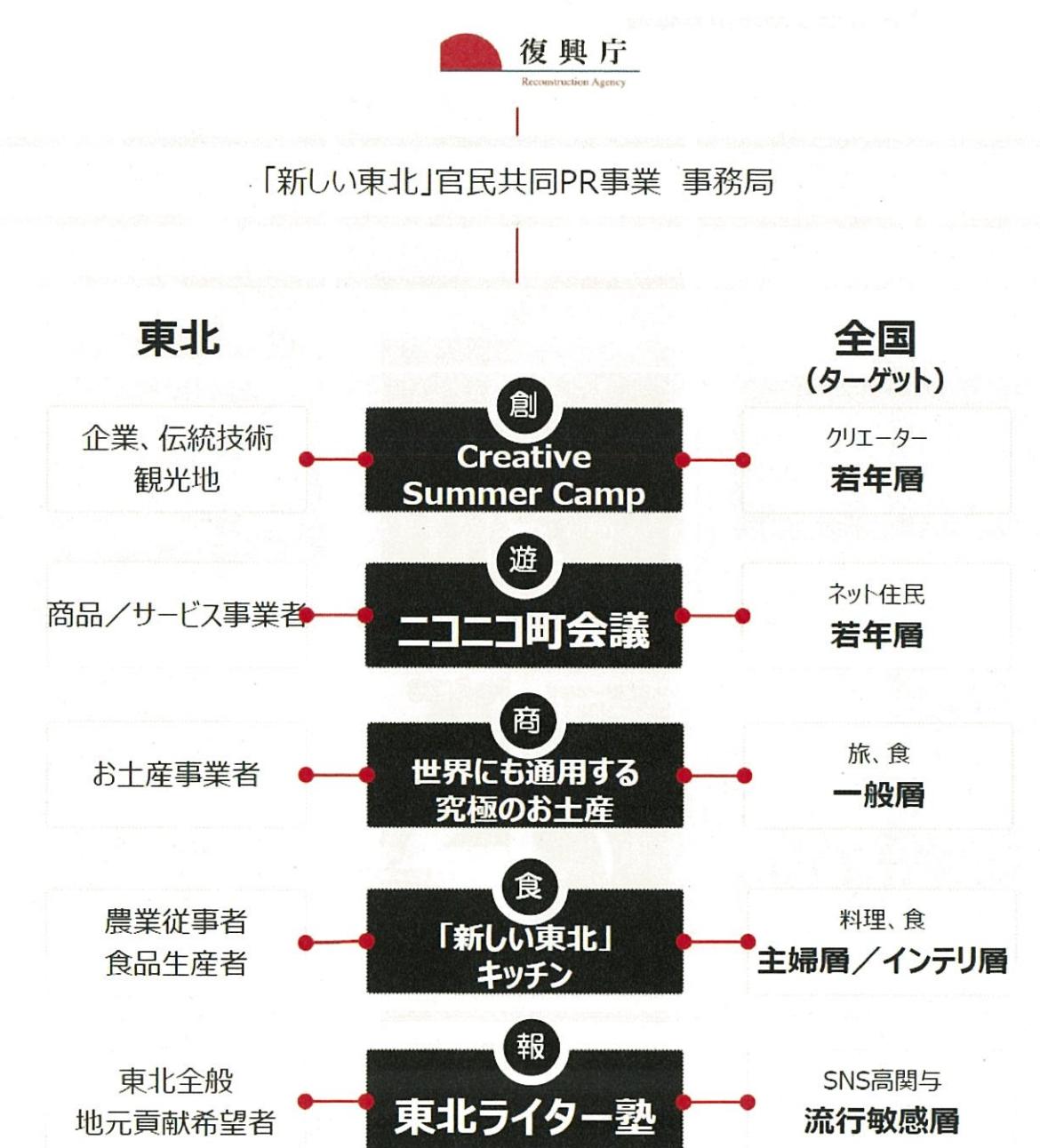


(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要

「新しい東北」事業において、被災地外の民間企業・団体のリソースを活用し、現状復帰にとどまることなく日本や世界の新たなモデルづくりに取り組む「東北の挑戦する姿」及びその成果を、広く全国に発信し、復興の輪を拡大することを目的とした事業。

これまでの事業ではリーチできていなかった層を中心とした独自のコミュニティを抱える民間4企業+1団体とコラボレーションし、イベントや情報発信の場において挑戦を続ける「東北」とコミュニティとのマッチングを行う5事業を展開しました。



(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要



## 世界にも通用する究極のお土産 ～「新しい東北」の挑戦～

事業者	株式会社JTBコミュニケーションズ／流通各社
事業内容	大手百貨店、コンビニ、ネットモールなど複数の流通企業と共同で行われ、震災の被害によって市場と販路の多くを失った事業者と、大手流通バイヤーを結びつけるマッチング事業。「世界にも通用する（東北発）食みやげ」をテーマに、究極の10品を選ぶ品評会やシンポジウムを開催し、多くのメディア露出を獲得。



出典：復興庁「新しい東北」官民共同PR事業（2015年度）より抜粋

### 総括

当初の想通りマスメディアで全国に渡り多く取り上げられ、その内容では「実施意図」に言及された。また、「接待の手土産」（ぐるなび）サイトに多く採用されるなど、事業者にとっても販路開拓を見出せた、「官民共同PR事業」の代表案件となった。前回開催に引き続き、「マッチング事業」という国ならではの枠組みが理解、納得されたと推測できる。

**[広告換算] ￥126,320,430 [PV/参加] - (視聴) / 300人 (イベント来場)**

(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要



## Creative Summer Camp

事業者	一般社団法人 my Japan
事業内容	著名クリエイター指導のもと、29歳以下の若手クリエイター達が「東北の挑戦」を伝える30秒動画を制作する合宿型映像制作プログラム。福島会津、宮城石巻、山形赤湯の3地域を対象として、撮影・現地発表会を実施。9月末の最終審査会において選出された動画は、年末渋谷スクランブル交差点にて放映された。



出典：復興庁「新しい東北」官民共同PR事業（2015年度）より抜粋

### 総括

**学生含む若者が、自分の未来へのステップとして必要性を感じたプログラムだからこそ“東北”を自分ゴトとして捉え、その魅力を見出し、最大限発信出来た。また、参加した東北関係者のモチベーションをアップさせた意義ある事業であった。広告やマスコミ業界に進む若者が今回の仲間とともに求心的かつ継続的に東北に関わっていくことに期待。**

**[広告換算] ￥93,953,406**

**[PV/参加] 635,205 (視聴) / 245人 (プログラム参加)**

(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要



## ニコニコ町会議 in 岩手県平泉町

事業者	株式会社ドワンゴ
事業内容	地域情報発信型の移動式 文化祭「ニコニコ町会議」を岩手平泉にて開催。東北各地の事業者が町会議への 出展・生放送などを通じた交流を行い、若年層を中心に「新しい東北」の姿を発信。当日は7,000人来場者と16万強の視聴者へ復興大臣自らが「復興の現状及び未来」について直接メッセージを届け、好意的に受け取られた。

### 新しい東北」ブース

【公募】 6月12日（金）～6月26日（金）

【応募】 13件

【出店】 1) まるごと陸前高田協議会（岩手県陸前高田市：陸前高田市観光物産協会）

2) 会津木綿製品（福島県会津若松市：株式会社IIE）

3) キャラクターデザインワークショップ（岩手県久慈市：久慈市／アクセセンチュア）

4) 高校生がつくる いしのまき「」（宮城県石巻市：かぎかっこプロジェクト）

5) たかたIngress研究会（岩手県陸前高田市）

6) さんさ裂き織り工房（岩手県盛岡市：株式会社幸呼來Japan）

7) 山形県たかはたブランドフェア（山形県高畠町）

8) 岩手アカモク生産協同組合（岩手県下閉伊郡山田町）

9) 登米市観光物産協会（宮城県登米市）

10) 岩手発クラウドファンディングいしわりの紹介（岩手県大船渡市：NPO法人wiz）

11) 3Dデモ/アプリ体験（岩手県上閉伊郡大槌町：一般社団法人KAI OTSUCHI）

12) 秋保工芸の里（宮城県仙台市：アリティーヴィー株式会社）

13) 石鹼、美容品等物販（岩手県陸前高田市：株式会社re:terra）



出典：復興庁「新しい東北」官民共同PR事業（2015年度）より抜粋

### 総括

会場内に「新しい東北」を設置、ニコニコユーザーに刺さる生放送演出に加え、大臣が直接メッセージを送る等、これまでの事業ではリーチできていなかった、普段「復興」に低関与であるネットユーザー層にダイレクトにリーチすることができた。生放送中の書き込みも極端なマイナスは目立たず、概ね好意的に受け止められた。

【広告換算】 **¥31,806,271**      【PV/参加】 164,492 (視聴) / 3,000人 (現地来場)

(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要



事業者	株式会社JTBコミュニケーションズ／クックパッド株式会社
事業内容	「食の宝庫」と言われる東北において、東北ならではの珍しい食材を実際に食べる機会や活用するヒントを提供する取組。No.1レシピサイトのクックパッドとのコラボによる料理教室や特設サイト、総合口コミサイト「yelp」イベントを通じて生産者の情報も発信し、多くのアクセス、共感コメントを獲得。

■イベント告知チラシ ※9月29日「Creative Summer Camp」イベントにて配付

#### ■イベント告知ページ（東京抜粋）

A screenshot of the Yelp Japan homepage. At the top, there's a search bar with 'Near Kuala Lumpur' and a 'Sign Up' button. Below the header, there's a section for 'Other Cities Abroad' with links to Albury, Abu Dhabi, Amsterdam, Anchorage, Antwerp, and more. The main content features a large image of a chef and a woman eating, with text for 'The Weekly Yelp' and 'Yelp Dining Hall' events.

#### ■ クックパッド内 「新しい東北」キッチン レポート



出典：復興庁「新(し)東北」官民共同PR事業（2015年度）より抜粋

総括

投稿サイトだけでなく、リアルイベントを実施したこと、生産者と参加者の双方向コミュニケーションが実現し、リアルな共感と理解に導けた事業となつた。東北事業者にとっても士気が高まる有意義なコメントも寄せられ、こうした身近かつ参加できる支援策が求められていることが明確となつた。

【広告換算】 **¥777,040,400** 【アクセス/参加】 53,561 (アクセス) / 521人 (フローラム参加)

(参考) 平成27年度「新しい東北」官民共同PR事業の概要



## 東北ライター塾／東北ライターズカップ

事業者	株式会社NEWSY
事業内容	ニュースサイト「しらべえ」とコラボし、東北在住のライターを発掘、育成するプログラム。自らが発信力を養い、東北在住者ならではの視点を取り入れた情報を発信していくことにより、現在の東北を風化させず、また新たな情報を掲示する。塾とともにコンテストを実施し、入賞者が実際に「しらべえ」で記事を執筆。

記者：おかじー

1

コーヒー豆をセルフ焙煎！仙台カフェ『One's Coffee』が楽しすぎる

© 2015/12/31 00:30

● 咖啡豆 ● コーヒー ● 仙台 ● 飲食 ● お土産

仙台といしば牛ケン、仙かまばこ、七夕祭り。仙台に来たことがある人は、お土産に買ったことのある人も多いのではないだろう。

しかし、「定番どころかでつまらない」と思う人もいるだろう。そんな人にオススメしたいのがコーヒー焙煎体験だ。



▲左からしらべえ編集長のタカハシマコトさん、佐藤穂平さん、長谷川琢磨さん

●場所 宮城復興局会議室 (仙台市青葉区|宮城4丁目1番地1号仙台市役所内)

●定員 60名 ●時間 13時30開場・14時講演（17時終了予定）

●会費 無料 ●お申込み・お問い合わせ tohoku@newsy-inc.jp

ネットには載ってない、ネットニュースのこと、全部教えちゃいます。  
(しらべえ編集長・タカハシマコト)

9.26 SAT

# 東北ライター塾

1 パネルセッション「発信力をもと何が変わるもの？」  
パネリスト：佐藤穂平・長谷川琢磨 モデレーター：タカハシマコト

2 基調講演「東北を世界に伝える」：廣瀬愛郎

3 セミナー「ネットニュースの書き方」：タカハシマコト / 植岡耕一

東北復興庁  
「新しい東北」官民共同PR事業  
しらべえ

出典：復興庁「新しい東北」官民共同PR事業（2015年度）より抜粋

### 総括

広告宣伝費を捻出できない企業規模の担当者にとって、貴重かつ充実した内容となり、参加者からの評判は高かったものの、広く周知する時間が不足してしまった。ただし、東北の現状を伝える記事が複数掲載され、読者からのシェア数も伸びた。また、ポータルサイトへの派生記事も多く、想定通りリーチ拡大に大きく貢献した事業となつた。

【広告換算】 ￥54,137,523

【PV/参加】 58,713 (PV) / 86人 (プログラム参加)